

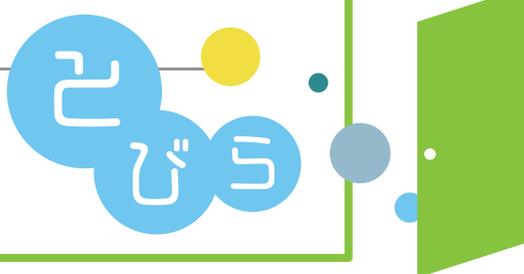
特集《条例制定》

障がい者の多様なコミュニケーション手段の 利用及び理解の促進に関する条例



柏崎市議会だより

ギカイの



No.201 令和7(2025)年8月5日発行

今回の表紙

「障がい者の多様なコミュニケーション手段の利用及び理解の促進に関する条例」を制定しました。

政策検討会議で検討を重ねました。(場所 多目的室)
右下写真は、昨年10月開催の議会意見交換会で手話通訳をしていただいたときの写真です。

もくじ

■ 特集《条例制定》《議会新体制》、 議会基本条例の検証時期の変更	P2～5
■ 委員会審査報告	P6・7
■ 大学生との情報交換会	P8
■ 一般質問	P9～12
■ 政務活動費収支報告	P13
■ ギカイのうごき、会派結成、 永年勤続表彰 ほか	P14・15
■ 9月定例会議日程 ほか	P16



あたらしい じょうれい 新しい条例ができました



じょうれいせいてい みち 条例制定までの道のり

●平成26年6月定例会議にて『手話言語法』制定を求める意見書の提出を求める請願を採択。

●平成30年、令和元年及び令和3年に「柏崎市手話言語条例の制定」に関する要望・陳情を受ける。

●令和4年5月「障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律（通称：障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法）」が成立。

●文教厚生常任委員会において調査・研究を進める。



●令和7年1月「通称：障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」に基づく理念条例の制定を検討する政策検討会議の設置を議会運営委員会で決定。

●地域で支え合いながら安心して暮らすことのできる共生社会を実現するため、条例名を「障がい者の多様なコミュニケーション手段の利用及び理解の促進に関する条例」とした。

れいわ ねん がつ にち こうふ しこう
令和7(2025)年5月21日 公布・施行

にいがたけんかしわざきししょう しゃ たよう しゅだん
新潟県柏崎市障がい者の多様なコミュニケーション手段の
りようおよ りかい そくしん かん じょうれい
利用及び理解の促進に関する条例

この条例が目指すもの

誰もが障がいの有無によって分け隔てられることなく、
 社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会
 を保障し、相互に人格と個性を尊重し合いながら安心して暮
 らせる共生社会の実現



条例の構成



- | | | | |
|-----|-------|-----|------------|
| 第1条 | 目的 | 第6条 | 事業者の役割 |
| 第2条 | 定義 | 第7条 | 来訪者への配慮 |
| 第3条 | 基本理念 | 第8条 | 施策の推進方針の策定 |
| 第4条 | 市の責務 | 第9条 | 財政上の措置 |
| 第5条 | 市民の役割 | | |



条例ってなあに？



社会的な課題や身近な問題を解決し、市民が幸せに暮らせる
 社会を実現するために地方自治体が定めるルールのことです。



条例を踏まえた実行例

議場の傍聴席に手話通訳席を用意しました。



延べ36項目のパブリックコメント

市議会にて策定した内容について、パブリックコメントを募集した
 ところ、多くの方から意見をいただきました。

いただいた意見の整理を行い条例に反映させるとともに、意見の
 ひとつずつに市議会の考え方を示しました。



新体制が決まりました

～ 任期満了に伴う選任結果をお知らせします ～

《議会新体制》

6月定例会議初日（6月5日）において、議長・副議長が選任されました。続けて、5つの常任委員会と議会運営委員会の委員が選任されました。また、各委員会において、委員長・副委員長が選任されました。



議長あいさつ

阿部基議長と佐藤正典副議長が就任しました



議長
阿部 基

副議長
佐藤 正典

柏崎市議会議長・副議長の就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当市における最大の課題は、人口減少、少子高齢化であり、それに伴う、様々な業種の担い手が不足していることだと捉えております。

我々は柏崎市の意思決定機関として、言葉に責任を持ち、互いの意見を尊重し、議論を重ね、礼を尽くし、義理と人情を貫き、和を重んじ市政の発展、市民自治及び市民福祉の向上を目指し、尽力してまいります。



委員会別
議員名簿

新しい委員会の顔ぶれ（◎委員長・○副委員長）

予算決算常任委員会（議長を除く21人）



◎佐藤正典



◎三嶋崇史

担当

当初予算・補正予算・決算に関すること

総務・文教厚生・産業建設の各分科会で分担して詳しく審査します。分科会は各常任委員会と同じ議員で構成し、常任委員会の委員長・副委員長が、分科会長・副分科会長となります。

総務常任委員会（7人）



◎近藤由香里



◎星野幸彦



布施 学



五位野和夫



上森 茜



春川敏浩



眞貝維義

担当

市政の企画、財政、防災、ごみ、市民活動、消防、選挙などに関すること



文教厚生常任委員会（7人）



◎山本博文



◎池野里美



三嶋崇史



田邊優香



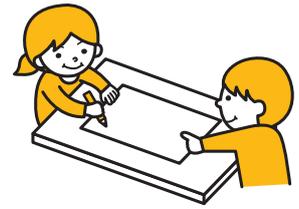
持田繁義



重野正毅



相澤宗一



担当

健康、福祉、医療、介護、子育て、保育、教育、スポーツ、文化、生涯学習などに関すること

産業建設常任委員会（7人）



◎三宮直人



◎西川弘美



山崎智仁



佐藤正典



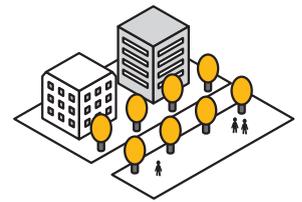
佐藤和典



柄沢均



星野正仁



担当

農林水産業、商工業、観光、都市計画、市営住宅、公園、道路河川、上下水道などに関すること

議会広報広聴常任委員会（11人）



◎田邊優香



◎山崎智仁

担当

議会だより、議会意見交換会・報告会、議会ホームページに関すること

池野里美 近藤由香里 山本博文 西川弘美
持田繁義 重野正毅 三宮直人 相澤宗一
春川敏浩

議会運営委員会（9人）



◎真貝維義



◎布施学

担当

議会の運営に関すること

星野幸彦 三嶋崇史 近藤由香里 五位野和夫
三宮直人 佐藤和典 柄沢均

新潟県柏崎市議会基本条例の一部を改正

5月随時会議で、議会基本条例の一部を改正しました。

条例の検証および見直し手続きを定めた第32条のうち、第2項に定めたこの条例の検証を行う時期を、「2年ごと」から「一般選挙を経た任期開始後3年以内」に改めたものです。

平成26（2014）年の条例制定から2年ごとに検証を行ってきましたが、令和6（2024）年度に検証を行った結果、今後この条例の検証結果による必要な改善措置を確実に講じるには、第32条第2項の改正が必要と評価したものです。

全ての検証項目と結果は、市議会ホームページでご覧いただけます。

議会基本条例の
検証



令和7(2025)年6月定例会議常任委員会での審査について 報告します

総務常任委員会

■委員長 近藤由香里 ■副委員長 星野幸彦
■委員 布施 学・五位野和夫・上森 茜・春川敏浩・真貝維義

4件の議案を審査しました。

- 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

概要

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、部分休業制度拡充に関する改正。

主な質疑

- Q 部分休業制度拡充の詳細、目的は。
- A 部分休業制度は育児のために勤務しないこ

とを認める制度である。現行の1日に2時間を超えない範囲内で取得できる形態に加え、1年に10日を超えない範囲で、2時間以上または1日単位で取得できる形態を設け、いずれかを選択できるものとする。育児を行う職員が、仕事と家庭生活を両立しやすくすることを目的とする。

文教厚生常任委員会

■委員長 山本博文 ■副委員長 池野里美
■委員 三嶋崇史・田邊優香・持田繁義・重野正毅・相澤宗一

1件の議案を審査しました。

- 財産の取得について（柏崎市立公立学校情報機器（小中学校分））

概要

小・中学校の児童・生徒のタブレット端末が導入から5年目の更新時期を迎えたことから、2億6532万4127円で取得したいため。

主な質疑

- Q 児童・生徒のタブレット端末交換時期は。

- A 10月～12月の間に納品され、整備を行い、今年度中には児童・生徒へ配布予定。

- Q 更新後の旧タブレット端末廃棄方法は。

- A これまで使用していたタブレットは下取りとなる。

データは確実に消去し、廃棄に関する証明書を発行してもらう。



産業建設常任委員会

■委員長 三宮直人 ■副委員長 西川弘美
■委員 山崎智仁・佐藤正典・佐藤和典・柄沢 均・星野正仁

2件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

- 市道路線の廃止について

概要

市道の再編に伴う柏崎7-76号線（北半田）の廃止。

- 市道路線の認定について

概要

市道の再編に伴う柏崎7-76号線（北半田）の認定。地元町内会長からの申請による柏崎7-261号線（北半田）の認定。

YouTube
録画映像

審査結果

予算決算常任委員会

■委員長 佐藤 正典 ■副委員長 三嶋 崇史

※分科会長・副分科会長・委員は、各常任委員会の委員長・副委員長・委員と同じ。

令和7(2025)年度一般会計補正予算(第4号)など、5件の議案について審査しました。

総務分科会

令和7(2025)年度一般会計補正予算(第4号)

- 物価高騰対応重点支援給付金給付事業
(1億6388万8000円)

概要

令和6(2024)年分所得税および令和6(2024)年度個人住民税の定額減税補足給付金に不足のある方などに、その差額を給付するために必要な経費。

主な質疑

- Q 給付対象者人数は。
- A 最大約1万300人を見込んでいる。
- Q 周知方法と給付のスケジュールは。
- A 議決後に市HP等において周知する。8月から順次通知を送出し11月末までには給付を完了したい。

文教厚生分科会

令和7(2025)年度一般会計補正予算(第4号)

- 子どもの屋内遊び場施設運営委託事業
(108万4千円)

概要

親子がより安心して快適に利用できる屋内遊び場環境を整えるために、キッズマジックの荷物棚制作・設置に必要な経費。

主な質疑

- Q 棚が必要となった理由と棚の詳細は。

- A 想定を上回る利用があり、ベンチが荷物で溢れ、座る場所に困る様子が見られたため棚を新設する。柏崎産木材を使用した40cm角×48マスの棚を靴箱の裏へ設置予定。
- Q 設置スケジュールは。
- A 8月下旬に設置予定。

産業建設分科会

令和7(2025)年度一般会計補正予算(第4号)

- 空き家対策事業(3500万円)

概要

対象の特定空き家の外壁崩落により、周辺への危険性を回避するための安全対応工事費。

主な質疑

- Q 安全対応工事の詳細は。
- A 外壁崩落防止やネットでの飛散防止対応等

の工事を行い、11月末までに完了予定。費用は全額所有者へ請求する。

- Q 今回の対応から得た教訓と今後の対応は。
- A 空き家対策に取り組んできたが、著しく状態の悪い空き家や行政指導に応じない所有者が増えている。罰則強化の観点から、条例の見直し作業に着手した。

市内2大学の学生と 計4回情報交換会を実施しました

柏崎市議会では、今年度、若者との意見交換会を計画しています。
意見交換会実現のため、市内2大学の学生と5月に情報交換会を行いました。
情報交換会でいただいた声を生かし、意見交換会実現に向け、企画を進めて
いきたいと考えております。



5月7日
新潟工科大学



5月9日
新潟産業大学



5月14日
新潟工科大学



5月16日
新潟産業大学





一般質問とは

皆さんの暮らしに関わる大切なことについて、議員が市に対して質問する場です。あなたはどんなことに興味がありますか？

質問項目



原子力防災



Q 屋内退避に重点を置く原子力防災を推進する考えは

A UPZにおける屋内退避の有効性を研修などに落とし込み、普及啓発を進める

質問 放射線防護において「屋内退避」は「避難」と同様に有効な手段であり、さらなる周知が必要である。国の「原子力災害時の屋内退避の運用に関する検討チーム報告書」も踏まえた今後の取り組みについて伺う。

回答 UPZにおける屋内退避の有効性を研修などに落とし込むほか、研修動画の配信など新たな手法で理解促進を図る。

他の質問 持続可能な民生委員制度の在り方 ほか



動画でチェック

原子力行政



Q 再稼働に関わる県民意識調査の実施について市の考えは

A 実施時期や設問など、意識調査の詳細が伝わってこないため理解が難しい

質問 花角知事は柏崎刈羽原発再稼働に関する自らの判断材料として、県民意識調査を実施するとしている。私自身は必要性を感じず疑問に思う。市長はどう考えるか。

回答 知事が今、なぜこのタイミングで改めて意識調査の実施を決めたのか、いつ、どのような項目で行うのかなどの詳細が伝わってきていないことを含め、理解が難しい。

他の質問 人口減少・少子高齢化を克服できる柏崎の強み ほか



動画でチェック

災害対策



Q 国道8号上輪橋通行止めの今後の対応は

A 迂回路の安全対策を実施し、交通アクセス情報をホームページで周知

質問 迂回路である市道の安全対策や、沿線の飲食店、施設、海水浴客などの観光面などに対する今後の対応は。

回答 迂回路の安全対策として、誘導看板やカーブミラー、バリケードを設置した。観光地の対応では、交通アクセス情報をホームページなどで発信し、安心して市道が利用できるよう対応する。

他の質問 道の駅「風の丘米山」の現状の取組と今後の方向性 ほか



動画でチェック

町内会の統合



春川敏浩

Q 近隣町内会の統合に行政が指導助言できないか

A 町内会の実態を把握し、統合が円滑に進む手引書を作成する

質問 高齢化、人口減少とともに町内会組織が弱体化し、組織の存続が困難な町内会がある。行政として指導助言は可能か。

回答 小規模町内会へのヒアリング結果を踏まえ、統合の留意点をまとめた手引書を作成する。町内会とは対等な協力関係で強制や指示はできないが、寄り添いながら助言を行い、持続可能な地域社会の実現に努める。

他の質問 柏崎市の名所旧跡地への観光案内のツール ほか



動画でチェック

障がい者雇用



池野里美

Q 市役所の障がい者雇用の取り組みは

A ジョブコーチによる支援など職場定着に重点を置いた取り組みを進める

質問 障がい者の採用計画や職場定着への取り組みなど障がい者雇用への考え方は。

回答 職員採用試験で障がい者枠を設けており、今年度は高校卒業予定者の障がい者枠を新設する。また、雇用のミスマッチによる早期離職防止のため、ジョブコーチによる支援体制を整備し、職場定着に重点を置いた取り組みを進めている。

他の質問



動画でチェック

不登校支援



重野正毅

Q 不登校児、その保護者などへの支援の必要性について

A 支援は継続して行う必要があり、今後も充実させていきたい

質問 不登校、その傾向にある児童・生徒、その保護者、支援を提供する側への市としての支援の必要性について見解を伺う。

回答 現状と課題、取り組みの検証を関係機関と連携を図りながら行っていく。学びの多様な学校の事業を含む新たな支援の在り方についても検討を進める。未然防止に力を入れるとともに、学習保障にも注力する。

他の質問 学校教育関係における来年度からの変更による影響



動画でチェック

原発



星野幸彦

Q 東電の衛星電話不具合や火災は施設機器管理の問題では

A 直接的かつ重大リスクではないが決して看過できる事案ではない

質問 緊急時用衛星電話の相次ぐ不具合の発生や低起動変圧器電源盤の火災などは、施設機器の経年劣化や耐用年数などの管理に問題があるのではないか。

回答 直ちに発電所の安全性に直接的かつ重大なリスクをもたらすものではないが、決して看過できない。施設機器管理について、安全意識のさらなる徹底を強く求める。

他の質問 特定重大事故等対処施設の工事延期 ほか



動画でチェック

災害対策



山崎智仁

Q 災害による道路
通行禁止の影響把握
とその対応について

A 農・工・商業、観光客への
影響を注視しながら、県へ
早期復旧の要望を行う

質問 3月の高柳町内県道崩落に伴い、市民生活や事業者に影響が出ている事例から、現在通行禁止が続いている県道の当市への影響の把握と対応についての考えを伺う。

回答 関係機関と情報共有し、影響を注視しながら、支援の必要性を含めた対応を検討するが、まずは県に対し早期復旧に向けた要望を引き続き行う。

他の
質問



動画でチェック

伝承学習



田邊優香

Q 地域文化・伝統
芸能の継承を意識的
に守る仕組みが必要

A 伝統文化の継承に個別・適
切に対応し、地域への愛着
や誇りの醸成につなげる

質問 学校統合が検討される中、これまで学校と地域が築き上げたつながりが断たれず地域の文化・伝統芸能の継承を意識的に守り、育てる仕組みづくりが必要ではないか。

回答 伝統文化の継承は、地域の魅力、地域の宝を守ることであり、学校統合の過程においても地域と学校の間につながりや地域の実情に応じ、個別に適切に対応する。

他の
質問

ほか



動画でチェック

総合計画



西川弘美

Q 第六次総合計画
策定に当たり市長が
考える将来都市像は

A 「先んじて挑戦する」とい
う市政の特徴を次期計画に
も生かしていきたい

質問 現在、策定作業中の第六次総合計画において、市長が考える将来都市像は。

回答 将来都市像の案として「躍動あふれる」「笑顔つながる」「未来を拓く」^{エナジー}「energyみなぎる」まちをあげ、審議会で意見をいただいた。次期総合計画でも人口減少・少子高齢化対策を念頭に「先んじて挑戦する」という柏崎らしさを生かしていきたい。

他の
質問

産後ケア事業の充実



動画でチェック

子育て



相澤宗一

Q 子ども一人一人
の人格形成に向けた
支援が必要では

A 行政は「子育て」領域で支
援、「子育て」は子ども本
人の力を信じるのみ

質問 子どもを取り巻く環境の充実策は親への支援が主だが、これからは子ども自身の人格形成に役立つ施策が必要と考える。

回答 行政は「子育て」の領域で支援するべきで、「子育て」は、大人たちが激動の社会情勢の中で、悪戦苦闘しながらも、懸命に生きる姿を見せることが、子ども自身の成長、「子育て」を促すものと信じている。

他の
質問

これからの柏崎の医療に対し必要なこと



動画でチェック

市財政



佐藤正典

Q 基金（資金）と市債（債務）の適切なバランスは

A 将来世代に過度な負担がないよう留意が必要

質問 基金（資金）と市債（債務）の適切なバランスを検討すべきではないか。

回答 基金と市債のバランスは将来世代に過度な負担がないよう留意が必要であり、財政運営はこれまで以上に戦略性が求められる。第六次総合計画では、財政基盤強化の一環として、基金の債券運用による運用収益の最大化を図る効率的な資金調達を検討する。

他の質問



動画でチェック

介護支援事業



五位野和夫

Q 居宅介護支援事業所減少への対策について

A 担い手の定着と確保に向けた支援、研修機会の確保などによる支援を継続する

質問 居宅介護支援事業所の減少要因は、ケアマネジャーの人手不足とされる。担い手を増やす支援策への取り組みを伺う。

回答 当市のケアマネジャー数は横ばいで推移している。今後も、ケアマネジャーの安定的な確保と資質向上に向けて、研修機会の確保、資格取得などへの補助を通じた経済的支援を継続する。

他の質問

市民活動を支援するための整備と拡充 ほか



動画でチェック

観光



布施 学

Q 花火大会×音楽フェスのような相乗効果のある取り組み

A 海の大花火大会同日に大規模な音楽フェスの開催は現時点では考えていない

質問 関係人口や定住人口の増加に向け、海の大花火大会×何らかの音楽フェスによる相乗効果のある取り組みが必要だと考えるが、見解を伺う。

回答 現時点では海の大花火大会のさらなる充実に注力するため同日に大規模な音楽フェスの開催は考えていないが、伝統と歴史を大切にしつつ、新しい取り組みも検討する。

他の質問

早期作付けコシヒカリの生育調査 ほか



動画でチェック

物価高騰対策



持田繁義

Q 水道基本料金の減免を再度、行うべきだ

A 多くの市民に恩恵が届くように水道基本料金の減免を検討する

質問 「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、水道基本料金の減免を一定の期間、再度、実施すべきと考えるが、市の考えを伺う。

回答 多くの市民に「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の効果が届くように、水道基本料金の減免を含め、可能な限り早期の予算化に向けた検討を進める。

他の質問

猫の「多頭崩壊現象」に対する適切な方策 ほか



動画でチェック

政務活動費収支報告



令和6(2024)年4月～令和7(2025)年3月

政務活動費

議員1人当たり月額4万円の政務活動費を交付し、残額は市に返還しました。領収書などの写しを含む収支報告書をホームページで公開しています。

政務活動費収支報告額一覧

(単位：円)

会派	所属議員数	交付額	支出額	残額	備考
柏崎の風	9	4,320,000	3,138,896	1,181,104	
柏盛クラブ	2	960,000	997,334	-37,334	不足分は会派負担
社会クラブ・柏崎のみらい連合	2	1,000,000	442,835	557,165	3月に1名増員
公明党	2	960,000	926,244	33,756	
日本共産党柏崎市議員団	2	960,000	404,438	555,562	
民社友愛	2	960,000	960,328	-328	不足分は会派負担
自治研究会	2	960,000	203,320	756,680	
暮らしと笑顔*	1	440,000	295,188	144,812	2月解散
合計	22人	10,560,000	7,368,583	3,229,079	

(*) 会派に所属しない議員に政務活動を交付する際に使用する名称であり、通常の会派ではありません。

セムカンで作成した令和6(2024)年度の収支報告書ホームページ

令和6(2024)年6月から試験導入した政務活動費管理クラウドシステム「セムカン」で作成した収支報告書のホームページです。市議会ホームページからご確認いただけます。

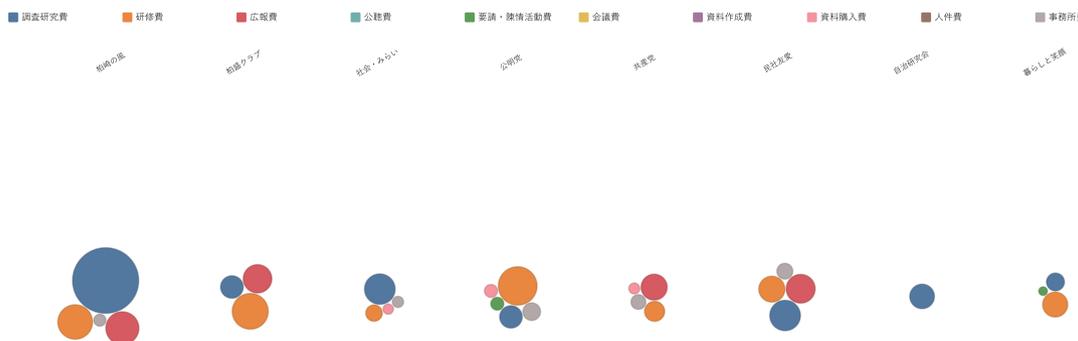
金額の大小を円形で表示し、会派ごと、項目ごとなどで切り替え可能なため、視覚的に認識しやすいホームページとなっています。

セムカン
公開ページ



政務活動費 収支状況一覧

令和6年度柏崎市議会での政務活動費の使い道



※実際の公開ページの様子です。

ギカイのうごき

CHECK!

1

総合計画の策定に向けた市議会の意見を市長へ提出

市当局による第六次柏崎市総合計画の策定に当たり、昨年10月から今年3月にかけて市当局と意見交換を行いました。

3回の意見交換を踏まえ、各常任委員会で取りまとめた議会の意見を5月21日に市長へ提出しました。

左から櫻井市長、柄沢前議長、重野前副議長 ▶



CHECK!

2

柏崎刈羽原子力発電所に関する調査特別委員会 柏崎刈羽原子力発電所6号機を視察

柏崎刈羽原子力発電所6号機の燃料装荷に向け、使用前事業者検査の進捗状況と安全対策を確認するため、5月23日に柏崎刈羽原子力発電所6号機を視察しました。



特別委員会



CHECK!

3

柏崎刈羽原子力発電所に関する調査特別委員会 研修会

6月26日に原子力規制庁長官官房 放射線防護グループ放射線防護企画課の方を講師にお招きし、「原子力災害時の屋内退避の運用に関する検討チーム会合報告書」についての研修会を開催しました。



特別委員会



■会派の変更がありました

5月15日付けで、新しい会派「明日への希望」^{あす}が結成されました。

会派別
議員名簿



■永年勤続議員表彰

～6月5日の本会議開始前に、議場で伝達式を行いました～

このたび、真貝 維義 議員が、全国市議会議長会および北信越議会議長会から勤続30年以上の表彰を受けました。

また、次の議員が、全国市議会議長会および北信越議会議長会から勤続10年以上の表彰を受けました。

山本 博文 議員	重野 正毅 議員	三宮 直人 議員
佐藤 正典 議員	柄沢 均 議員	阿部 基 議員
布施 学 議員	上森 茜 議員	

なお、柄沢 均 議員は、全国市議会議長会の国会対策委員に選任されていたので、国会対策委員に対する感謝状も受領されました。

■議案審査以外の活動事例（内容）

前月までの
議会の日程



- 4月21日（月） 産業建設常任委員協議会（第六次総合計画）
- 4月22日（火） 総務常任委員協議会（第六次総合計画）
- 4月23日（水） 文教厚生常任委員協議会（第六次総合計画）
- 6月13日（金） 産業建設常任委員協議会（上下水道局、都市整備部からの報告）
- 6月17日（火） 総務常任委員協議会（総合企画部、財務部からの報告）
- 6月19日（木） 文教厚生常任委員協議会（福祉保健部からの報告）
- 6月20日（金） 予算決算常任委員会運営会議
- 6月20日（金） 柏崎刈羽原子力発電所に関する調査特別委員会第二部会勉強会



9月

定例会議の予定



変更の場合はホームページでお知らせします。本会議は午前10時に開会します。

日	月	火	水	木	金	土
	9/1	2	3	4	5 本会議 議案説明・質疑・付託	6
7 委員会・分科会 産業建設・文教厚生・総務 (議案補足説明)	8	9 委員協議会・作業部会 産業建設・文教厚生・総務 (論点整理) ※中継はありません	10 本会議 一般質問	11 本会議 一般質問	12 本会議 (一般質問・予備日) 委員会 予算決算	13
14 (敬老の日)	15	16 委員会・分科会 産業建設	17 委員会・分科会 産業建設	18 委員会・分科会 文教厚生	19 委員会・分科会 総務	20
21 (委員会・予備日) 委員会 予算決算	22	23 (秋分の日)	24 本会議 委員長報告・採決	25 分科会 総務 (現地視察)	26 分科会 総務	27
28 分科会 総務	29	30 分科会 産業建設 (現地視察)	10/1 分科会 産業建設	2 分科会 文教厚生 (現地視察)	3 分科会 文教厚生	4
5 (委員会・予備日)	6	7 委員会 予算決算	8 本会議 委員長報告・採決	9	10	11

本会議・委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。
本会議・委員会は、インターネット中継でご覧いただけます。
録画映像と会議録も公開しています。

議会日程



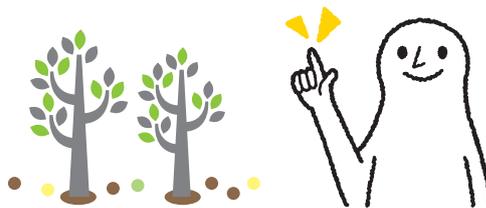
中継・傍聴・
会議録



■リンク先をデザインで区別しています

柏崎市HP

外部サイト



編集後記

今年の6月定例会議より、議長・副議長をはじめ、各常任委員会も新しい体制で議会運営を行っています。

「ギカイのとびら」の発行を担当する議会広報広聴常任委員会では、市民の皆様に分かりやすく、より多くの方々に柏崎市議会の動

きを知っていただけるように、さまざまなお試みを行ってまいります。これからも「ギカイのとびら」をよろしくお願いたします。

議会広報広聴常任委員
山崎 智仁

次回発行は 12月5日
お楽しみに

柏崎市議会

検索

議会広報広聴常任委員会

委員長 田邊優香
副委員長 山崎智仁
委員
池野里美 近藤由香里 山本博文
西川弘美 持田繁義 重野正毅
三宮直人 相澤宗一 春川敏浩